

黒松内小学校 学校だより 第2号



ぶなの里

令和6年4月30日発行
TEL 0136-72-3023 FAX 0136-72-4601

《 教育目標 》

フナ北限の里を愛し、
たくましく未来を拓く
子どもの育成

かしこく やさしく たくましく

黒っこスマイル・チャレンジ

校長 荒木 俊行

雪もすっかりなくなり、過ごしやすい季節になりました。先日の参観日には、お忙しい中多数ご来校いただき、ありがとうございました。全体及び学級懇談では、今年度の方針についてそれぞれお話しいたしました。今後も何かお気づきの点がございましたら、学校、担任にお知らせください。保護者の皆さんとより一層連携を深めながら、教育活動を進めてまいりたいと思います。ゴールデンウィーク中は、お出かけしたり、のんびりしたりと過ごし方はそれぞれだと思いますが、事故やけが等には十分気をつけて過ごすよう、ご家庭でも声かけください。

さて、新三役の下、スローガンを「黒っこスマイル・チャレンジ～あいさつ・コミュニケーション・笑顔～」として、児童会の活動がスタートしました。みんなが「明るく楽しい」「毎日来たいと思える」「笑顔あふれる」黒松内小学校にしたいという思いが込められています。その思いに応えられるよう子どもたちと協力しながら、笑顔はいっぱいの学校にするため努力してまいります。まずは、スローガンにもあります「挨拶」を大切にしたいと思います。挨拶はその後に続く、コミュニケーションを深め、そして最後の笑顔につながるものだからです。

笑顔には私たちが想像する以上に大きなパワーがあります。私たちは誰でも、「コミュニケーションをとりたい」「うれしい気持ちになりたい」「楽しみたい」という思いを持っています。ですから、普段から笑顔を絶やさない人の周りには、自然と人が引き寄せられ、大きな輪が生まれます。他にも明るい気持ちになるのはもちろん、免疫力がアップしたり、血圧や血糖値を下げたり、自律神経の働きを整えてリラックス状態にさせるほか、脳を冷却する作用により、体が「快い」と感じるなど様々な効果があります。さらに、笑顔は相手にも伝染します。笑顔の人と一緒にいたら、つられていつの間にか笑顔になっていたということがあるでしょう。明るい笑顔が周囲も明るくするというのは、その人の持っている雰囲気とかだけではなく、笑顔になると幸福を感じさせる脳内物質が分泌されるからであると科学的にも証明されています。笑顔の人につられて一緒に笑うと、周囲の人たちの脳内でもその物質が分泌されるため、一体感や安心感が生まれてくるのです。その相手の笑顔を見ることによって、さらに明るい気持ちが増幅されるという効果もあります。

今年度の学校のスローガンは「つながる」です。まさに子どもたちの取組は、人と人がつながる第一歩です。併せて各委員会でも「スマイル・チャレンジ」実現のため、いろいろな計画を立てています。子どもたちの活動がたくさんの笑顔につながることを期待しています。

まずは、「笑顔」で「挨拶」を心がけていきます。

